

# 議 事 録 ～要約版～

会 議 名	第 5 回美祢市本庁舎整備検討委員会			
開 催 日 時	平成 30 年 1 月 29 日 (月) 午後 3 時～午後 5 時			
開 催 場 所	美祢市民会館 2 階第 1・2 会議室			
委員出席者	秋 枝 秀 稔	○	倉 永 健 造	○
	戎 屋 昭 彦	○	小 林 法 子	○
	猶 野 智 和	○	河 村 達 丸	○
	井 上 敏 雄	○	谷 仁 史	○
	北 村 ひかり	○	内 藤 貴 志	○
	杉 本 智	○	内 藤 正 太	
	内 田 文 雄	○	藤 岡 周 志	○
	加 藤 久 雄	○	松 田 龍 信	○
	阿 野 太 助	○	石 田 淳 司	○
	伊 賀 信 之	○	藤 澤 和 昭	○
出席 19 名／欠席 1 名				
事務局出席者	総務部長 田辺 剛		総務課長 佐々木 昭治	
	本庁舎整備推進室長 松野 哲治		本庁舎整備推進室長補佐 倉増 裕	
	本庁舎整備推進室係長 藤本 永			
内 容				
1 開会あいさつ	内田会長あいさつ			
2 前回の質問について (1) ライフサイクルコスト (LCC) 比較	事務局説明。 質疑は以下のとおり。 委員 耐震補強した場合の 20 年後の庁舎の建て替えは全面建て替えをした場合の面積と同じか。 事務局 耐震補強をした場合は、当初増築した面積を除いた面積を建て替えることになる。 委員 その場合において、20 年後の人口変動を考慮した費用を算出しているのか。 事務局 現状を基に算出している。			
(2) 庁舎整備の候補地	事務局説明。 質疑は以下のとおり。 委員 候補地 B (旧丸和) は、その活用について市職員でプロジェクトチームを作り検討すると市長から聞いていたが、まち・ひと・しごとも含め検討はどうなったのか。これは議員からも質問が出ている。 事務局 プロジェクトチームでの検討は行ったが、活用策			

# 議 事 録 ～要約版～

<p>(3) 候補地ごとの建設配置案</p>	<p>は打ち出せていない。そのこともあって、この委員会において候補地として挙げさせていただいた。</p> <p>委員 3月議会において、市庁舎の位置を含めたまちづくりに関して市長の方針が出るのか。</p> <p>事務局 本委員会からの答申を受け、庁舎の建設地を市長が決定し、その後市街地のまちづくりを考えていくことになる想定しているため、3月議会の時点では具体的な方針は出せないと考える。</p> <p>事務局説明。</p> <p>質疑は以下のとおり。</p> <p>委員 高齢者等に配慮するということであったが、(A)の2の案などはその配慮がないように思うが。</p> <p>事務局 あくまで配置案の一つ。実際の計画策定の際は十分配慮したい。</p> <p>委員 借地となっている土地については、今後も貸借ができるのか。</p> <p>事務局 場所が決定していない現時点では、所有者との交渉はしていない。候補地決定後に今後の交渉を行うことになる。</p> <p>委員 交渉がまとまらない場合はどうなるのか。</p> <p>事務局 他の候補地も検討しておく必要があると考えている。</p> <p>委員 交渉に時間がかかる場合は合併推進債を活用できなくなるのではないか。</p> <p>事務局 できるだけ早目に交渉の結論を出す必要があると認識している。</p> <p>委員 候補地 A（現在地）について、仮設事務所を建てないのか。市のシンボルの一つである市民会館が見えにくくなるのではないか。</p> <p>事務局 仮設事務所には約 4 億円の費用がかかることから、仮設事務所は建てずに駐車場を活用するプランにしている。</p>
<p>3 審議事項 (1) 候補地選定について</p>	<p>事務局説明。</p> <p>質疑は以下のとおり。</p> <p>委員 浸水の可能性について、現庁舎周辺の 3 候補地の場合、周辺が浸水した場合の BCP はどのように考</p>

## 議 事 録 ～要約版～

えているのか。

事務局 本庁舎が浸水を免れれば、浸水が解消された後にすぐに復旧への対応はできると考えている。

委 員 水が引いてからの対応という考えがどうか。被災時は防災センターや危機管理センターで対応できるのではないかな。

委 員 浸水の可能性が高い場所に建設をすることはどうかと思う。

事務局 浸水発生時の対応は消防署、浸水解消後の行政的な対応は本庁舎になる。今後そういったシステムを構築すれば、浸水被害への対応はできると考えている。

委 員 建設費用が高額に感じる。内訳等も分からない。

事務局 以前にも提示しており、今回の資料にも根拠を示している。市民の安全を守るためにはそれなりの庁舎が必要になると考える。

会 長 工事費は国の基準を基に面積を算出し、それに標準建設費を掛けて試算している。今後の基本計画などで面積を減らせる工夫はできると考える。

委 員 浸水の件について、各委員の意見を聞いてみたい。

意見は以下のとおり。

委 員 浸水の懸念を最優先と考えるのはどうかと思う。

委 員 対策ができるのであれば現庁舎周辺の候補地が良いと思う。

委 員 浸水の可能性があるのであれば他の候補地も検討すべきと考えるが、他の候補地もよくわからないために何とも言えない。

委 員 市民にとっては利便性の方が重要に思う。

委 員 浸水の件は検討事項であって決定事項ではない。候補地は、現在地が最適であると考えている。

委 員 危機管理は役割分担をすれば良いと思う。

委 員 市のシンボルとして市民が元気になれるというような部分を評価したい。

委 員 浸水の対策は可能と考える。評価のウエイトは人によって異なると思うが、総合的に考えると中核施設、防災拠点施設となる位置は現在地が良いと思う。

委 員 市民が望むものは、水害後の行政対応であると思

## 議 事 録 ～要約版～

<p>(2) 本庁舎整備（報告）について</p> <p>4 その他報告  (1) 候補地選定について</p> <p>5 その他  (1) 次回開催日程</p> <p>6 閉会あいさつ</p>	<p>う。</p> <p>委 員 現在地周辺の3候補地については、浸水の可能性は選定の判断材料にならない。基本計画の中で課題とすれば良いと思う。市民対応、防災訓練などを考えれば現在地が良いと考える。</p> <p>委 員 浸水の可能性があるのであれば、防災拠点という看板は外さなければならぬ。一つの庁舎に全ての看板を付けるのは困難であると思う。</p> <p>委 員 評価について、配点を変えてはどうか。</p> <p>事務局 各候補地の評価は、御意見いただいたとおり配点を変えたものを次回提示したい。本日提示している項目以外に、評価項目に加えた方が良いものがあれば事務局まで御連絡をいただきたい。</p> <p>事務局説明。  質疑は以下のとおり。</p> <p>委 員 本委員会でこれまで出された質問、意見や回答を報告書にいられていただきたい。</p> <p>委 員 基本理念に交流拠点都市美祢市とあるため、基本方針にもブレイクダウンした方がよい。また、基本理念を一言で表せるキャッチコピーがあった方がなおよい。現在の概要について、一部の施設の記載が抜けている箇所がある。</p> <p>事務局説明。  質疑なし。</p> <p>次回の委員会開催は2月26日（月）とする。</p> <p>田辺総務部長あいさつ</p>
---	--